

ICEルーブリック研究会

ICEルーブリックを“設計”しよう

ICEモデルが注目され、質的評価のニーズとともに、ICEルーブリック活用に関する質問も増えてきています。

今回は、“ICEルーブリック設計”を通して、発見したことや課題などを出しあい、お互いに学び合います。かゆいところに手が届くように、座談会形式で行います。

ファシリテーターは、当研究所顧問、帝京大学 学修・研究支援センター長・教授 **土持ゲーリー法一先生**です。

一緒に勉強
しませんか

- 日時：2018年2月24日（土） 13:30～17:00
- 会場：メディアサイト株式会社 主体的学び研究所（東京・新橋）
- 対象・定員：学校関係者でICEモデルやICEルーブリックの実践者、興味のある方、導入してみたい方 申込順 12名くらいまで
- 参加費無料
- 事前課題：お申し込み後、こちらからご連絡する課題（質問）について、考えてきてください。ご自分の質問等もちろん歓迎です。
- お申込み・お問合せ：ご所属・連絡先電話番号・職位・お名前を添えて、
allinfo（アットを記号でご記載ください）**activellj.jp**にご送付ください。
お申し込み後に事前課題のテーマと会場地図などを順次ご送付します。

プログラム

- 事前課題：課題のテーマについて、各自考えてくる。
課題テーマの詳細は、お申し込みの方にご連絡します。
テストやクイズはありません。ワークのために使います。

<2018年2月24日（土） 13:30～17:00>

- 解説：ループリックとICEループリック
- 課題発見ワーク1：事前課題の確認とシェア
（休憩）
- 課題発見ワーク2：ICEループリックを“設計”する
（休憩）
- 各自の担当授業のICEループリックを検討する

主催： 主体的学び研究所 <http://www.activellj.jp/>
〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル 8F
Phone: 03-6452-9048